

湘南台小だより

2021. 9. 1

藤沢市立湘南台小学校
校長 天野 和美

学校教育目標：自ら学びをつくり、たくましく生きる力と
豊かな心を持った子供を育てる



「あんしん あったか やさしく 元気！！」な学校を目指して

2学期が始まりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が夏休み前とは比較にならないくらい、広がっている中での2学期の始まりとなりました。

このことについて藤沢市教育委員会からも「感染拡大に伴う市立学校の夏季休業明けの教育活動について」が示されました。それには、夏季休業明けもこれまで通り「学び」を止めないために「感染予防対策」を強化するための措置をもって学校を再開するとしています。

学校でも藤沢市教育委員会からの考えに則り、感染症対策をしっかりとった上で、教育活動を送っていかうと考えております。そこでこれからは、1学期とは違った対応を行っていくことにもなります。また、計画していた行事等につきましても延期や中止を余儀なくされるものもあります。感染症の感染拡大をくいとめるためにご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

○登校について

・昇降口の混雑を防ぐために学年によって登校時刻を指定させていただきます。ただし兄弟で登校時刻が異なる場合については、どちらかの時刻で構いません。

1, 2, 4年, 湘南台学級……8:15～8:25

3, 5, 6年 ……8:25～8:35

・校庭で健康観察を行い、その後クラスごとに教室に入ります。登校したら、校庭にクラスごとに並びます。

○健康観察票について

・新しいものを配りました。健康調査票説明書をよくお読みください。

・症状がある場合（項目に○がつく場合、ただし花粉症や鼻炎等は除く）は出席停止となります。

・同居家族の方々の健康観察にもご協力いただき、児童だけでなく同居家族にも症状がある場合は出席停止となります。

○学校生活について

・登校後、休み時間後、特別教室使用后、給食前後、掃除後等々手洗いの頻度が今まで以上に増えます。ハンカチもすぐにびしょびしょになってしまいますので、複数枚持たせてもらえるといいです。

・教室はエアコンを稼働しつつ、換気を常時行っています。快適な教室環境に気をつけてはいますが、座席によっては、冷えすぎる暑いなどの温度差がどうしても生じてしまいます。温度変化に対応できるよう長袖の上着や汗ふきタオルの持参等、お願いいたします。

○学校行事について

・1学期末にお知らせした授業参観につきましては、延期とさせていただきます。今後行える状況になりましたら、改めてご案内いたします。

・当初10月に予定していた運動会ですが、11月以降に延期します。全校での運動会は平日午前中に児童のみで行います。保護者向けは後日学年別に行う予定です。日程につきましては、10月以降にお知らせします。

・今予定している行事も今後の状況次第で延期や中止になる場合があります。その際は連絡メールやお便りでお知らせいたしますので、ご承知おきください。

◇9月の主な予定◇

1日(水)	2学期始業式 テストメール送信
3日(金)	給食開始 全校4時間授業 スクールカウンセラー来校日
8日(水)	スクールカウンセラー来校日
15日(水)	スクールカウンセラー来校日
17日(金)	スクールカウンセラー来校日
20日(月)	敬老の日
22日(水)	スクールカウンセラー来校日
23日(木)	秋分の日
25日(土)	6年日光修学旅行(予定)
26日(日)	6年日光修学旅行(予定)
27日(月)	6年代休(予定)
28日(火)	6年代休(予定)
29日(水)	スクールカウンセラー来校日
30日(木)	給食費口座振替日(9月分)



毎月第1・3・5土曜日に行っている校庭開放ですが、9月につきましては、中止となりました。校庭の利用はできません。ご承知おきください。



◇10月の主な予定◇

1日(金)	テストメール送信
11日(月)	朝会
14日(木)	総合かがく展(~19日)

*予定ですので、今後の状況によっては変更する場合があります。

アドラー心理学から学ぶ

さて、この夏休みに教育文化講演会で「変化する時代に生きる子どもの心を育てる」という演題で、アドラー心理学の岩井俊憲先生のお話を聞く機会がありました。その中で印象に残ったお話をお伝えします。

変化の時代に子どもを伸ばすアドラー心理学の4つのキーワード「尊敬」「共感」「信頼」「勇気づけ」の理解を深めることを通してアドラー心理学流の子育てについて学びました。この中で特に重要なのが「勇気づけ」です。「勇気づけ」とは、尊敬、共感、信頼をベースとして困難を克服する力を高め、自己価値観を高める行為です。具体的には、まず、よい点を見つけて伝えること。次に感謝の気持ちを言葉にして伝えること。さらに聴き上手に徹すること。また、進歩や成長を認めること。そして失敗を許容すること。親が子どもに「勇気づけ」をすることで子どもは自信を持ち、自律心を持つことができるそうです。

とても似ているようだけれども「褒める」と「勇気づけ」とは違うもので、「褒める」ことよりも「勇気づけ」が子どもにとって大切であるとのことでした。私たち大人が上手に「勇気づけ」をして子どもたちの健やかな成長に携わっていきたいと考えた講演会でした。